

平成23年7月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 プロトコーポレーション
 コード番号 4298 URL <http://www.proto-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 入川 達三
 (氏名) 清水 茂代司

TEL 052-934-2000

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,223	2.5	1,403	△20.2	1,437	△19.4	827	△21.3
23年3月期第1四半期	7,050	17.1	1,758	18.9	1,782	18.7	1,051	17.8

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 844百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 1,045百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	79.09	—
23年3月期第1四半期	100.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	26,171	20,486	78.3
23年3月期	26,163	20,034	76.6

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 20,486百万円 23年3月期 20,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	37.50	—	37.50	75.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	37.50	—	37.50	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,603	3.4	2,485	△26.0	2,488	△26.7	1,389	△28.5	132.85
通期	31,000	7.7	6,300	3.1	6,318	△0.9	3,663	14.6	350.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	10,470,000 株	23年3月期	10,470,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	9,945 株	23年3月期	9,925 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	10,460,060 株	23年3月期1Q	10,460,245 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.5「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
4. 補足情報	16
生産、受注及び販売の状況	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、今年3月に発生した東日本大震災により大きな被害を受け、電力供給制限の問題など懸念すべき事項も多く、日本経済の先行きに不透明感が強まりました。また、欧州の信用不安やアメリカ、中国の景気先行きへの懸念が高まるなど、世界経済の先行きについても不透明感が増しております。こうした経済環境の中、当社グループの主要顧客である自動車販売業界におきましては、エコカー補助金制度終了の影響により、当第1四半期の新車販売台数は前年実績を下回る水準で推移しております。また、中古車登録台数につきましても前年実績を下回る厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、企業ブランドならびに商品ブランドの確立を経営戦略上の重点課題と位置付け、自動車関連情報分野の更なる拡充と生活関連情報分野の事業拡大に取り組み、事業の成長維持による「企業価値の最大化」を推し進めてまいりました。具体的には、多様化する消費行動・消費者ニーズに即した商品・サービス（機能）の開発・提供を通じて国内シェアをより一層高め、「Goo」をはじめとした商品ブランドの更なる強化に努めると同時に、『情報を未来の知恵に』をメッセージとした企業ブランドの確立を図ってまいりました。

なお、東日本大震災による影響としましては、当社グループへの損害は軽微だったものの、東北地方の一部顧客において、地震や津波による被害が発生いたしました。このため日本赤十字社を通じての義援金の拠出や、被災地の中古車販売フェアの企画・協賛を通じて復興支援を実施してまいりました。

また、当第1四半期において、平成23年6月に株式会社マップ・コミュニケーションズから介護情報誌「ハートページ」事業を取得し、介護情報誌事業・介護情報サイト運営事業を開始し、事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

こうした取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、主要事業である自動車関連情報分野と生活関連情報分野において、東日本大震災発生後の広告活動自粛による影響はあったものの、EC売上等が堅調に推移したことなどから、7,223百万円（対前年同四半期比2.5%増）となりました。営業利益につきましては、IT事業のプロモーション強化に伴う広告宣伝費の増加や、海外事業の調査費用などの発生により、1,403百万円（対前年同四半期比20.2%減）となりました。経常利益につきましては1,437百万円（対前年同四半期比19.4%減）、四半期純利益につきましては827百万円（対前年同四半期比21.3%減）となりました。

(参考情報) 連結業績予想と実績との差異

(金額単位：百万円)

	平成24年3月期第1四半期連結累計期間		
	業績予想	実績	差異
売上高	7,004	7,223	219
営業利益	1,155	1,403	247
経常利益	1,152	1,437	284
当期純利益	618	827	209

なお、事業のセグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①自動車関連情報

当社グループを取り巻く外部環境が厳しい状況で推移する中、中古車販売店の仕入れから販売までの総合的な経営支援を事業方針に掲げ、取引社数の拡大ならびに顧客当たりの取引単価の維持・拡大に努めてまいりました。

当第1四半期におきましては、バイクパーツ・用品に係るEC事業の強化を図ってまいりました。具体的には、当社のECサイトGooBikePartsの管理・運営を子会社である株式会社バイクブロスに移管し、事業効率の改善を図るとともに取扱商品点数の拡充を推進してまいりました。

また、インターネット・モバイルメディアにおいて、iPhoneやiPad、Android端末等を通じてカーライフに役立つクルマ選びやメンテナンス、クルマカタログ等の電子ブックを提供し、細分化された消費者ニーズの充足・ユーザー接点の最大化を図ることで「Goo」ブランドの更なる強化を図ってまいりました。

こうした、ユーザーの様々なニーズに応えることができる環境の整備に取り組んだ結果、中古車販売台数が伸び悩むマーケットの中でも、当社のメディアを利用するユーザーの拡大や購買意欲の向上が図られることとなり、当社クライアントにおける販売機会の拡大へとつながっております。

以上のことを通じて競争優位性の確立による「Goo」ブランドの強化、ならびにグループシナジーの追求に取り組んだ結果、売上高は6,492百万円(対前年同四半期比2.8%増)となりました。営業利益につきましては、IT事業のプロモーション強化に伴う広告宣伝費の増加により、1,820百万円(対前年同四半期比11.2%減)となりました。

②生活関連情報

ユーザー・クライアントニーズを的確に捉えた商品・サービスの開発・提供に努め、コンテンツの拡充とサービス(機能)の拡充を通じてメディアパワーの強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期におきましては、当社のケア関連情報事業を子会社である株式会社プロトメディカルケアに集約し、事業効率の改善を図るとともに、介護・医療・福祉業界における人材紹介サービスの拡充に取り組んでまいりました。更に、介護情報誌「ハートページ」事業を外部より譲受け、コンテンツの拡充・取引社数の拡大を図ってまいりました。また、リサイクル・リユース情報事業につきましては、増員による営業基盤の強化を図り、事業規模の拡大を推進してまいりました。

以上の結果として、ケア関連情報事業とリサイクル・リユース情報事業が増収に寄与したことにより、売上高は640百万円(対前年同四半期比6.8%増)となりました。営業利益につきましては、事業拡大に伴う人件費ならびにIT事業のプロモーション強化に伴う広告宣伝費が増加したため、27百万円(対前年同四半期比60.1%減)となりました。

③不動産

当社および株式会社リペアテックが自社物件の賃貸管理を中心に行い、売上高は41百万円(対前年同四半期比14.3%減)、営業利益は20百万円(対前年同四半期比29.6%減)となりました。

④その他事業

株式会社プロトデータセンターのBPO(ビジネス プロセス アウトソーシング)事業において、グループ外企業との取引が拡大したものの、前連結会計年度において株式会社マーズフラッグを売却し連結グループから除外したことから、売上高は49百万円(対前年同四半期比43.7%減)となりました。また、営業利益につきましては、事業拡大に伴い株式会社プロトデータセンターのBPO事業の営業費用が増加したことから、38百万円の営業損失(前年同四半期実績は27百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は26,171百万円となり、前連結会計年度末と比較して7百万円増加いたしました。資産、負債及び純資産の状況につきましては、次のとおりであります。

i 資産

流動資産につきましては、大阪支社建替えに伴う有形固定資産の取得による支払や「ハートページ」事業の譲受けに係る支払、ならびに未払法人税等の支払により現金及び預金が減少した結果15,905百万円となり、前連結会計年度末と比較して155百万円減少しております。固定資産につきましては、大阪支社建替えに伴う建物の増加および「ハートページ」事業の譲受けに係るのれんを計上したことなどから10,265百万円となり、前連結会計年度末と比較して163百万円増加しております。

ii 負債

流動負債につきましては、法人税等の支払による未払法人税等の減少などにより5,219百万円となり、前連結会計年度末と比較して419百万円減少しております。固定負債につきましては、子会社における長期借入金が減少したことなどから465百万円となり、前連結会計年度末と比較して24百万円減少しております。

iii 純資産

配当金の支払が392百万円あったものの、四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したことから純資産は20,486百万円となり、前連結会計年度末と比較して451百万円増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物につきましては、前連結会計年度末と比較して530百万円減少し、11,946百万円となりました。現金及び現金同等物が減少した主な要因につきましては、次のとおりであります。

i 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に係る法人税等の確定納付による支出が1,324百万円、売上債権の増加が287百万円発生したものの、未払費用が205百万円増加したことや、税金等調整前四半期純利益1,438百万円を計上したことなどにより、163百万円の収入となりました。

ii 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が223百万円、事業譲受による支出が100百万円発生したことなどにより、303百万円の支出となりました。

iii 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に当社において前期期末配当金の支払による支出が367百万円あったことにより、390百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

景気先行きの不透明感から、個人消費においては節約志向が高まってきており、当社グループの主要顧客である自動車販売業界におきましては厳しい経営環境が続くと考えられますが、現在のところ概ね当初計画通り進捗しております。また、平成23年7月27日公表のMTM Multimedia Sdn Bhdの株式取得(子会社化)につきましては、平成24年3月期連結業績に与える影響は軽微となる見通しであります。今後の進捗状況等に応じ精査の上開示すべき事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,748,091	12,219,562
受取手形及び売掛金	2,654,846	2,695,147
有価証券	19,076	19,208
商品及び製品	27,328	37,870
仕掛品	61,211	61,416
原材料及び貯蔵品	2,642	3,169
繰延税金資産	217,143	288,459
その他	334,814	585,298
貸倒引当金	△3,779	△4,471
流動資産合計	16,061,374	15,905,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,966,919	3,087,037
土地	3,998,869	4,021,230
その他(純額)	120,326	135,212
有形固定資産合計	7,086,115	7,243,480
無形固定資産		
のれん	954,252	971,307
その他	154,887	167,780
無形固定資産合計	1,109,140	1,139,087
投資その他の資産		
投資有価証券	499,156	516,359
繰延税金資産	599,783	551,307
その他	900,979	857,219
貸倒引当金	△93,035	△41,652
投資その他の資産合計	1,906,884	1,883,234
固定資産合計	10,102,139	10,265,802
資産合計	26,163,513	26,171,464

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	776,034	754,312
1年内返済予定の長期借入金	82,821	79,236
未払費用	1,251,505	1,472,335
未払法人税等	1,333,671	637,238
前受金	1,741,097	1,784,602
返品調整引当金	95,545	84,737
賞与引当金	41,813	64,285
その他	316,622	343,010
流動負債合計	5,639,110	5,219,757
固定負債		
長期借入金	53,954	34,145
退職給付引当金	882	882
役員退職慰労引当金	232,300	231,900
資産除去債務	73,268	73,455
負ののれん	21,917	19,474
その他	107,573	105,542
固定負債合計	489,895	465,400
負債合計	6,129,006	5,685,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,824,620	1,824,620
資本剰余金	2,011,736	2,011,736
利益剰余金	16,236,318	16,671,383
自己株式	△13,598	△13,659
株主資本合計	20,059,077	20,494,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,252	1,808
為替換算調整勘定	△12,317	△9,583
その他の包括利益累計額合計	△24,570	△7,775
純資産合計	20,034,506	20,486,306
負債純資産合計	26,163,513	26,171,464

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,050,397	7,223,996
売上原価	2,786,387	3,021,052
売上総利益	4,264,009	4,202,943
返品調整引当金戻入額	146,690	95,545
返品調整引当金繰入額	93,412	84,737
差引売上総利益	4,317,287	4,213,752
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	1,181,867	1,167,220
役員退職慰労引当金繰入額	4,812	4,750
賞与引当金繰入額	17,627	18,956
広告宣伝費	280,037	476,041
貸倒引当金繰入額	3,866	486
のれん償却額	105,650	82,945
その他	965,382	1,059,909
販売費及び一般管理費合計	2,559,243	2,810,309
営業利益	1,758,043	1,403,442
営業外収益		
受取利息	3,513	3,891
受取配当金	2,568	2,984
負ののれん償却額	2,443	2,443
匿名組合投資利益	6,841	—
貸倒引当金戻入額	—	20,073
その他	11,271	15,777
営業外収益合計	26,638	45,170
営業外費用		
支払利息	1,528	775
寄付金	—	10,000
その他	251	749
営業外費用合計	1,780	11,525
経常利益	1,782,901	1,437,087
特別利益		
債務免除益	6,106	—
投資有価証券売却益	—	8,371
特別利益合計	6,106	8,371
特別損失		
固定資産売却損	—	40
固定資産除却損	27	2,380
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53,517	—
災害による損失	—	4,325
特別損失合計	53,545	6,746
税金等調整前四半期純利益	1,735,461	1,438,711
法人税、住民税及び事業税	809,307	643,805
法人税等調整額	△122,635	△32,411
法人税等合計	686,671	611,393
少数株主損益調整前四半期純利益	1,048,789	827,318
少数株主損失(△)	△2,874	—
四半期純利益	1,051,664	827,318

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,048,789	827,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,828	14,060
為替換算調整勘定	422	2,734
その他の包括利益合計	△3,406	16,795
四半期包括利益	1,045,383	844,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,048,258	844,113
少数株主に係る四半期包括利益	△2,874	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,735,461	1,438,711
減価償却費	77,684	68,242
のれん償却額	105,650	82,945
負ののれん償却額	△2,443	△2,443
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,812	△400
賞与引当金の増減額（△は減少）	23,421	22,472
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△52,972	△10,808
貸倒引当金の増減額（△は減少）	903	△21,030
受取利息及び受取配当金	△6,082	△6,875
支払利息	1,528	775
投資事業組合運用損益（△は益）	△3,072	△133
匿名組合投資損益（△は益）	△6,841	—
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△8,371
固定資産除売却損益（△は益）	27	2,421
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	53,517	—
売上債権の増減額（△は増加）	△148,162	△287,180
たな卸資産の増減額（△は増加）	△5,238	△11,274
仕入債務の増減額（△は減少）	△49,900	△21,721
未払費用の増減額（△は減少）	△14,966	205,573
前受金の増減額（△は減少）	38,267	43,504
未払消費税等の増減額（△は減少）	△67,783	53,604
その他	△101,710	△63,058
小計	1,582,101	1,484,954
利息及び配当金の受取額	3,838	4,038
利息の支払額	△1,527	△767
法人税等の支払額	△1,430,965	△1,324,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,447	163,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,439	△223,809
無形固定資産の取得による支出	△10,981	△4,212
長期前払費用の取得による支出	△305	△5,267
有形固定資産の売却による収入	—	15
投資有価証券の売却による収入	—	14,723
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△621,355	—
事業譲受による支出	△380,000	△100,000
その他	4,302	14,943
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,018,779	△303,607
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	0
長期借入金の返済による支出	△32,442	△23,394
自己株式の取得による支出	△133	△60
配当金の支払額	△356,268	△367,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△338,843	△390,825
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	807
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,204,127	△530,383
現金及び現金同等物の期首残高	11,207,424	12,476,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,003,296	11,946,177

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に自動車ならびに生活に関連する情報を収集・整理・分類し、有用な情報コンテンツに加工した上で、当社グループのメディアを通じて消費者ならびに法人企業の皆様に提供するとともに、法人企業の事業運営を支援する関連サービスの提供を行っております。従って、当社グループはこの情報コンテンツを基にセグメントが構成されており、「自動車関連情報」、「生活関連情報」、「不動産」及び「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。なお、各報告セグメントに含まれる主要品目は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要品目等
自動車関連情報	クルマ情報誌「Goo」 輸入車情報誌「GooWORLD」 バイク情報誌「GooBike」 クルマパーツ情報誌「GooParts」 バイク専門誌「Bike Bros.」「ROAD RIDER」 クルマ・ポータルサイト「Goo-net」 週刊オークション情報 中古車データ検索システム「データライン」 月刊ボデーショップレポート 板金塗装見積りシステム「モレノン」 自動車整備業マネジメントシステム「SuperATOM3」「PIT3」
生活関連情報	有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」 介護・医療・福祉の求人・転職サイト「介護求人ナビ」 看護師専門求人情報サイト「ナースエージェント」 医師・看護師・薬剤師の就職・転職支援サービス「Medical CUBIC」 資格・スキル・趣味・学校の専門サイト「VeeSCHOOL」 リサイクル総合情報サイト「おいくら」 アフィリエイトプログラム「Challenging Japan」
不動産	賃貸等不動産の保全・管理
その他事業	見える！検索エンジン「MARS FLAG」 見える！サイト内検索「MARS FINDER」 BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車 関連情報	生活 関連情報	不動産	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,314,932	599,594	48,273	87,596	7,050,397	—	7,050,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	29,080	9,261	38,342	△38,342	—
計	6,314,932	599,594	77,353	96,858	7,088,739	△38,342	7,050,397
セグメント利益 又は損失(△)	2,049,899	69,568	29,742	△27,802	2,121,407	△363,363	1,758,043

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△38,342千円、全社費用△325,021千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間末ののれんは1,587,709千円となり、前連結会計年度末と比較して928,765千円増加いたしました。のれんが増加した主な要因は次のとおりであります。

「自動車関連情報」セグメントにおいて、平成22年4月に株式会社バイクプロスを子会社化したことに伴い、654,401千円ののれんを計上しております。また、株式会社日本文化社が運営する中古車情報「Mj(エムジェイ)」事業を平成22年4月に譲受け、380,000千円ののれんを計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に自動車ならびに生活に関連する情報を収集・整理・分類し、有用な情報コンテンツに加工した上で、当社グループのメディアを通じて消費者ならびに法人企業の皆様に提供するとともに、法人企業の事業運営を支援する関連サービスの提供を行っております。従って、当社グループはこの情報コンテンツを基にセグメントが構成されており、「自動車関連情報」、「生活関連情報」、「不動産」及び「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。なお、各報告セグメントに含まれる主要品目は、以下のとおりであります。

報告セグメント	主要品目等
自動車関連情報	クルマ情報誌「Goo」 輸入車情報誌「GooWORLD」 バイク情報誌「GooBike」 クルマパーツ情報誌「GooParts」 バイク専門誌「ROAD RIDER」 クルマ・ポータルサイト「Goo-net」 週刊オークション情報 中古車データ検索システム「データライン」 月刊ボデーショップレポート 板金塗装見積りシステム「モレノン」 自動車整備業マネジメントシステム「SuperATOM3」 「PIT3」
生活関連情報	有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」 介護・医療・福祉の求人・転職サイト「介護求人ナビ」 看護師専門求人情報サイト「ナースエージェント」 医師・看護師・薬剤師の就職・転職支援サービス「Medical CUBIC」 資格・スキル・趣味・学校の専門サイト「VeeSCHOOL」 リサイクル総合情報サイト「おいくら」 アフィリエイトプログラム「Challenging Japan」
不動産	賃貸等不動産の保全・管理
その他事業	BPO (ビジネスプロセスアウトソーシング)

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動車 関連情報	生活 関連情報	不動産	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,492,815	640,504	41,385	49,291	7,223,996	—	7,223,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,841	—	31,251	8,046	43,139	△43,139	—
計	6,496,656	640,504	72,637	57,337	7,267,135	△43,139	7,223,996
セグメント利益 又は損失(△)	1,820,447	27,752	20,952	△38,321	1,830,831	△427,388	1,403,442

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△3,649千円、全社費用△423,739千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間末ののれんは971,307千円となり、前連結会計年度末と比較して17,054千円増加いたしました。のれんが増加した主な要因は次のとおりであります。

「生活関連情報」セグメントにおいて、平成23年6月に株式会社マップ・コミュニケーションズが運営する介護情報誌「ハートページ」の発行事業、及び介護情報ポータルサイト「ハートページ.ネット」の運営事業を平成23年6月に譲受け、100,000千円ののれんを計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
自動車関連情報	1,186,954	93.0
生活関連情報	142,405	88.6
合計	1,329,360	92.5

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
 2 金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 生産実績につきましては、自動車関連情報、生活関連情報における外注費を表示しております。不動産及びその他事業につきましては、生産実績がありませんので、記載いたしておりません。

②受注実績

受注後売上計上までの期間が概ね1ヶ月以内であるため、記載を省略しております。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
自動車関連情報	6,492,815	102.8
情報登録・掲載料	4,756,420	95.1
情報提供料	1,736,394	132.1
生活関連情報	640,504	106.8
不動産	41,385	85.7
その他事業	49,291	56.3
合計	7,223,996	102.5

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
 2 金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 自動車関連情報の情報登録・掲載料につきましては、主に情報誌への広告掲載料であります。また、情報提供料につきましては、主に個人向け情報誌の本売上及び法人向けデータ提供料であります。
 4 連結売上高に占めるクルマ情報誌「Goo」の割合は、31.8%であります。

当第1四半期連結累計期間の販売実績を地域別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

地域別セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
北海道・東北地区	488,910	83.8
関東・甲信越地区	3,140,505	102.3
東海・北陸地区	1,389,598	101.2
近畿地区	1,351,349	101.8
中国・四国地区	258,237	95.9
九州・沖縄地区	396,483	96.5
その他(海外)	198,911	1,252.4
合計	7,223,996	102.5

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
 2 金額には、消費税等は含まれておりません。